

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	1	道路台帳索引番号	P-26	施設管理者	韮崎市
路線名	市道韮崎2号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	下町橋
施設の所在地	富士見三丁目 2570番地1先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	桁橋(H桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(20)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.1		幅員(車道幅員)	12
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年11月	
	調査結果	PC桁に橋軸方向にひびわれが発生している。前回点検時より注入工により補修工事を行った形跡があるが再劣化や新たなひびわれが確認できる。状況から明らかにひびわれは進行していると考えられ材料劣化の疑いもあるため詳細調査の実施を含め対応が必要である。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和5年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	2	道路台帳索引番号	O-24	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道蕪崎4号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	大坪橋
施設の所在地	若宮二丁目1160番地9先	起点からの距離		建設年度	1976
供用年数	45	種別	PC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	20t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.7		幅員(車道幅員)	12
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和6年度	
	対策費用(百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	3	道路台帳索引番号	P-25	施設管理者	韮崎市
路線名	市道韮崎6号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	富士見下橋
施設の所在地	富士見二丁目 1855番地1先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.7		幅員(車道幅員)	6
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		
施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年12月				
	調査結果					
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度				
	内容	5年に1回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度				
	対策費用 (百万円:概算)	0.5				

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	4	道路台帳索引番号	Q-24,25	施設管理者	葦崎市
路線名	市道葦崎6号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	更科橋
施設の所在地	富士見二丁目 1804番地1先	起点からの距離		建設年度	1972
供用年数	49	種別	PC橋	型式	桁橋(T桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	20t	橋下条件	塩川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	145			幅員(車道幅員)	9.5		
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(T桁)						
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり		塗装使用の有無	別紙図面のとおり		
		支承型式	別紙図面のとおり		落橋防止の有無	別紙図面のとおり			
		橋台工形式	鉄筋コンクリート逆T式橋台			基礎型式	直接基礎		
橋脚工形式	鉄筋コンクリート壁式橋脚			海岸からの距離	-				
施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年12月							
	調査結果	主桁・横桁:落書き、床版:すす汚れ							
	健全性の診断結果	Ⅲ (早期処置段階)	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。						
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度							
	内容	補修工事を実施。 5年に1回の定期点検を行う。							
	実施予定時期	令和5年度～令和6年度							
	対策費用 (百万円:概算)	30.5							

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)		15	15.5							
対策の内容・実施時期		補修工事	補修点検							

備考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	5	道路台帳索引番号	Q-24,25	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道蕪崎6号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	岩下前田橋
施設の所在地	蕪崎町岩下1333番地2先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.8		幅員(車道幅員)	4.4
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年12月	
	調査結果	床版:豆板、地覆:土砂堆積	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和6年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	6	道路台帳索引番号	R-24	施設管理者	葦崎市
路線名	市道葦崎6号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	楯無堰1号橋
施設の所在地	葦崎町上ノ山1008番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	楯無堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.6		幅員(車道幅員)	7.5
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	鉄筋コンクリートBOX		基礎型式	
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成29年1月								
	調査結果									
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和9年度								
	対策費用(百万円:概算)	1								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	7	道路台帳索引番号	P-20	施設管理者	葦崎市
路線名	市道穂坂1号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	権現沢橋
施設の所在地	宮久保字寺平 1718番地先	起点からの距離		建設年度	1997
供用年数	24	種別	PC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	A活荷	橋下条件	権現沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	16.6			幅員(車道幅員)	5		
	施設の構造等	上部工形式	床版橋						
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり		塗装使用の有無	別紙図面のとおり		
		支承型式	別紙図面のとおり		落橋防止の有無	別紙図面のとおり			
		橋台工形式	逆T式橋台			基礎型式	直接基礎		
橋脚工形式				海岸からの距離	-				
施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年12月							
	調査結果	土砂堆積							
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。						
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度							
	内容	5年に1回の定期点検を行う。							
	実施予定時期	令和6年度							
	対策費用 (百万円:概算)	0.5							

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	8	道路台帳索引番号	P-19	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穂坂1号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	馬背川1号橋
施設の所在地	宮久保字権現沢 2082番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	馬背沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.8		幅員(車道幅員)	4.4
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年12月								
	調査結果	橋台(その他):土砂流出、防護柵不備、土砂堆積								
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和6年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	9	道路台帳索引番号	P-18	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穂坂1号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	穂坂1-1号橋
施設の所在地	宮久保字上野原 2285番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	楯無堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.3		幅員(車道幅員)	6.3
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		
施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年12月				
	調査結果	土砂堆積				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度				
	内容	5年に1回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度				
	対策費用 (百万円:概算)	0.5				

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	10	道路台帳索引番号	Y-17	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穂坂3号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	下新居下橋
施設の所在地	上今井字新井 1076番地4先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	燕沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.5		幅員(車道幅員)	6.5
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		
施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年12月				
	調査結果	土砂堆積				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度				
	内容	5年に1回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度				
	対策費用 (百万円:概算)	0.5				

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	11	道路台帳索引番号	N-20	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道藤井1号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	藤井橋
施設の所在地	南下条字山影 538番地 2 先	起点からの距離		建設年度	1983
供用年数	38	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(20)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	15.7		幅員(車道幅員)	12
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年12月								
	調査結果	主桁、地覆、下部工等;補修済								
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和6年度								
	対策費用(百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	12	道路台帳索引番号	M-17	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道藤井9号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	坂井坂下1号橋
施設の所在地	北下条字山本43番地先	起点からの距離		建設年度	2000
供用年数	21	種別	PC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	B活荷	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.9		幅員(車道幅員)	12.4
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年12月	
	調査結果	土砂堆積	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和6年度	
	対策費用(百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	13	道路台帳索引番号	M-17	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道藤井9号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	坂井坂下2号橋
施設の所在地	北下条字山本 2016番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	その他	型式	溝橋(カルバート)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.4		幅員(車道幅員)	16.8
	施設の構造等	上部工形式	溝橋(カルバート)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	鉄筋コンクリートBOX		基礎型式	
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年12月	
	調査結果	土砂堆積	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和6年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	14	道路台帳索引番号	L-17	施設管理者	葦崎市
路線名	市道藤井9号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	宮沢川橋
施設の所在地	駒井字西御門441番地先	起点からの距離		建設年度	1986
供用年数	35	種別	鋼橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	20t	橋下条件	宮沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	40.1		幅員(車道幅員)	9.3
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	起点側重力式橋台 終点側逆T式橋台		基礎型式	鋼管矢板	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年12月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和6年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	15	道路台帳索引番号	L-17	施設管理者	葦崎市
路線名	市道藤井9号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	上野跨線橋
施設の所在地	駒井字西御門875番地1先	起点からの距離		建設年度	1999
供用年数	22	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	B活荷	橋下条件	JR中央本線

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	21		幅員(車道幅員)	11.2
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成29年8月				
	調査結果	点検は、路上のみ実施 橋下面側は、JRコンサルにて実施				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。			

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和9年度								
	対策費用(百万円:概算)	1								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	16	道路台帳索引番号	L-11	施設管理者	葦崎市
路線名	市道中田1号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	西町下橋
施設の所在地	中条字西町733番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(1)t	橋下条件	藤井堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.7		幅員(車道幅員)	3.3
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月								
	調査結果	舗装の土砂堆積								
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和7年度								
	対策費用(百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	18	道路台帳索引番号	K-9	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穴山3号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	下木戸橋
施設の所在地	小田川字下木戸 128番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	藤井堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.2		幅員(車道幅員)	3.5
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月								
	調査結果									
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和7年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	20	道路台帳索引番号	C-5	施設管理者	葦崎市
路線名	市道円野1号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	寺沢橋
施設の所在地	上円井字島崎5番地先	起点からの距離		建設年度	1967
供用年数	54	種別	RC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.6		幅員(車道幅員)	3.9
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月								
	調査結果	舗装の土砂堆積								
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和7年度								
	対策費用(百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	21	道路台帳索引番号	C-6	施設管理者	葦崎市
路線名	市道円野1号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	柳坪橋
施設の所在地	下円井字皿之子田 1199番地3先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	溝橋(カルバート)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.5		幅員(車道幅員)	4.2
	施設の構造等	上部工形式	溝橋(カルバート)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台 鉄筋コンクリートBOX		基礎型式	
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月	
	調査結果	舗装の土砂堆積、路面の凹凸	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和7年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	22	道路台帳索引番号	C-7	施設管理者	葦崎市
路線名	市道円野1号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	水無橋
施設の所在地	下円井字水無 1046番地2先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	溝橋(カルバート)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	連合堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	溝橋(カルバート)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	鉄筋コンクリートBOX		基礎型式	
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月								
	調査結果	舗装の土砂堆積								
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和7年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	23	道路台帳索引番号	H-16	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道清哲1号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	桐沢橋
施設の所在地	祖母石字高砂 2378番地先	起点からの距離		建設年度	1993
供用年数	28	種別	PC橋	型式	桁橋(T桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	20t	橋下条件	釜無川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	285.6		幅員(車道幅員)	9
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(T桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	擁壁式橋台		基礎型式		
橋脚工形式	鉄筋コンクリート張出式橋脚		海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年11月	
	調査結果	下部工の落書き	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和7年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	25	道路台帳索引番号	M-39	施設管理者	葦崎市
路線名	市道旭 25 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	あけぼの橋
施設の所在地	上条南割字外御勅使 3314 番地 249 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.9		幅員(車道幅員)	9.2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式		
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 2 年 1 月								
	調査結果	舗装の土砂堆積								
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度								
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和 7 年度								
	対策費用(百万円:概算)	0.5								

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	27	道路台帳索引番号	O-33	施設管理者	葦崎市
路線名	市道旭 76 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	梅木田橋
施設の所在地	上条中割字梅木田 939 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(I 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	9.5		幅員(車道幅員)	7.3
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(I 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 2 年 1 月	
	調査結果	主桁の腐食	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 7 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	28	道路台帳索引番号	M-25	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道大草1号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	甘利沢下橋
施設の所在地	鍋山字釜無河原 218番地104先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	20t	橋下条件	甘利沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	85.7		幅員(車道幅員)	8.2
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
橋脚工形式	鉄筋コンクリート壁式橋脚		海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月								
	調査結果	主桁の腐食								
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和7年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	29	道路台帳索引番号	O-29	施設管理者	葦崎市
路線名	市道大草2号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	古川橋
施設の所在地	若尾字石塚 1266 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	古川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.3		幅員(車道幅員)	3.4
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月								
	調査結果									
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和7年度								
	対策費用(百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	30	道路台帳索引番号	O-35	施設管理者	葦崎市
路線名	市道大草3号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	西割大橋
施設の所在地	下条西割字川崎 427番地1先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	桁橋(H桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	割羽沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	17.4		幅員(車道幅員)	4.4
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月	
	調査結果	床版の鉄筋露出	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度
	内容	5年に1回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和7年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	31	道路台帳索引番号	O-36	施設管理者	葦崎市
路線名	市道大草3号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	前新田橋
施設の所在地	下条西割字前新田 897-2番地	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3		幅員(車道幅員)	7
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
橋脚工形式			海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月								
	調査結果									
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和7年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	32	道路台帳索引番号	O-23	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道蕪崎9号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	若宮上橋
施設の所在地	若宮一丁目574番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.4		幅員(車道幅員)	5.5
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成27年11月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和6年度	
	対策費用(百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	33	道路台帳索引番号	X-21	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穂坂4号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	経塚橋
施設の所在地	穂坂町大字長久保 29番地先	起点からの距離		建設年度	1984
供用年数	37	種別	PC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(20)t	橋下条件	長久保沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	9.4		幅員(車道幅員)	7.5
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式		
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月								
	調査結果									
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和7年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	34	道路台帳索引番号	Y-17	施設管理者	葦崎市
路線名	市道穂坂4号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	下新居中橋
施設の所在地	上今井字梅の久保 2288番地1先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	燕川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.5		幅員(車道幅員)	6
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月								
	調査結果									
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和7年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	35	道路台帳索引番号	O-14	施設管理者	葦崎市
路線名	市道穂坂9号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	ダラダラ橋
施設の所在地	三之蔵字アメ田 2280番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(I桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	正楽寺川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.6		幅員(車道幅員)	3.7
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(I桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
橋脚工形式			海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月	
	調査結果	主桁、支承に著しい腐食が見られる。	
	健全性の診断結果	Ⅲ (早期処置段階)	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度	
	内容	補修工事を実施。 5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和6年度～令和7年度	
	対策費用 (百万円:概算)	106.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)			50	56.5						
対策の内容・実施時期			補修工事	補修点検						

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	37	道路台帳索引番号	N-19	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道藤井2号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	四枚橋
施設の所在地	北下条字榎田 1904番地4先	起点からの距離		建設年度	1988
供用年数	33	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(20)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	27.5		幅員(車道幅員)	5
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成29年9月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和9年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	38	道路台帳索引番号	L-20	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道藤井3号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	中央公園上橋
施設の所在地	南下条字滝坂 1165番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.1		幅員(車道幅員)	5.8
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月								
	調査結果	防護柵不備								
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和7年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	39	道路台帳索引番号	L-16	施設管理者	韮崎市
路線名	市道藤井5号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	駒井上野坂下2号橋
施設の所在地	駒井字宮ノ前1225番地先	起点からの距離		建設年度	1990
供用年数	31	種別	PC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.5		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式		
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月	
	調査結果	舗装の路面の凹凸	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度
	内容	5年に1回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和7年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	40	道路台帳索引番号	F-10	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道円野2号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	三ツ石上橋
施設の所在地	穴山町字三ツ石 8863番地2先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.4		幅員(車道幅員)	6.5
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月	
	調査結果	舗装の土砂堆積	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度
	内容	5年に1回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和7年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	41	道路台帳索引番号	E-10	施設管理者	韮崎市
路線名	市道円野2号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	入戸野橋
施設の所在地	穴山町字三ツ石 8865番地2先	起点からの距離		建設年度	1976
供用年数	45	種別	PC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	釜無川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	282.5		幅員(車道幅員)	4.8
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式	鉄筋コンクリート壁式橋脚		海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和3年12月	
	調査結果	床版:木材の混入,床版張出部:鋼材の露出,主桁:定着部の異常(PC鋼材横締め)、鋼材の露出,端横桁:鋼材の露出、豆板、空洞、豆板,横桁:木材の混入,橋台:土砂堆積,防護柵:高さ不足,地覆:鋼材の露出、豆板、空洞,伸縮装置:目地材などのずれ、脱落,橋脚:木材の混入、砂すじ、空洞、落書き	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和8年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	42	道路台帳索引番号	K-31	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道旭1号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	山口上橋
施設の所在地	上条北割字鎌倉 3927番地5先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	御坊沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.4		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月								
	調査結果	床版のひびわれ、床版の遊離石灰								
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和7年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	43	道路台帳索引番号	L-32	施設管理者	葦崎市
路線名	市道旭1号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	宮下上橋
施設の所在地	上条北割字鎌倉 2828番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.7		幅員(車道幅員)	8.2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月								
	調査結果	床版の豆板、鉄筋露出								
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和7年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	44	道路台帳索引番号	N-32	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道旭1号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	宮下下橋
施設の所在地	上条北割字宮下 3134番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	御坊沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.5		幅員(車道幅員)	7.4
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月								
	調査結果	主桁の腐食								
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和7年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	45	道路台帳索引番号	P-36	施設管理者	葦崎市
路線名	市道龍岡3号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	町屋橋
施設の所在地	下条中割275番地 2先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	割羽沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	16.9		幅員(車道幅員)	3.6
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
橋脚工形式			海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月	
	調査結果	主桁の腐食	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和7年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	46	道路台帳索引番号	S-37	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道龍岡4号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	真葛橋
施設の所在地	下条南割字宮本 995番地2先	起点からの距離		建設年度	1972
供用年数	49	種別	鋼橋	型式	桁橋(H桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	割羽沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	24		幅員(車道幅員)	3.5
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
橋脚工形式			海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和7年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	47	道路台帳索引番号	S-35	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道龍岡4号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	東村橋
施設の所在地	下条東割字長塚道 下644番地	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.3		幅員(車道幅員)	3.7
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月								
	調査結果	防護柵不備								
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和7年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	48	道路台帳索引番号	L-22	施設管理者	葦崎市
路線名	市道葦崎 26 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	一ツ谷中橋
施設の所在地	一ツ谷字海老島 1835 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.8		幅員(車道幅員)	3
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 1 年 12 月				
	調査結果	防護柵不備				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度				
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和 6 年度				
	対策費用 (百万円:概算)	0.5				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	49	道路台帳索引番号	M-23	施設管理者	葦崎市
路線名	市道葦崎 30 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	水神住宅橋
施設の所在地	水神二丁目 4828 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.5		幅員(車道幅員)	3.9
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	50	道路台帳索引番号	M-23	施設管理者	葦崎市
路線名	市道葦崎 36 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	葦崎 36-1 号橋
施設の所在地	水神一丁目 4809 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2		幅員(車道幅員)	2.9
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月	
	調査結果	その他:水路側壁の損傷	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	51	道路台帳索引番号	P-26	施設管理者	葦崎市
路線名	市道葦崎 60 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	本町三丁目 2 号橋
施設の所在地	本町三丁目 2694 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.9		幅員(車道幅員)	4.1
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 1 年 12 月				
	調査結果	防護柵不備、支承:土砂堆積				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度				
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和 6 年度				
	対策費用(百万円:概算)	0.5				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	52	道路台帳索引番号	P-26	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道蕪崎 60 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	本町三丁目 1 号橋
施設の所在地	本町三丁目 2354 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(1)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.4		幅員(車道幅員)	5.1
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 1 年 12 月								
	調査結果									
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度								
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和 6 年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	53	道路台帳索引番号	P-26	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道蕪崎64号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	本町三丁目3号橋
施設の所在地	本町三丁目 2341 番地 6 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.9		幅員(車道幅員)	9.7
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年12月								
-----------	-------	---------	--	--	--	--	--	--	--	--

施設の状態等の概要	調査結果	その他 5-B: 標識の損傷 6-C1: 水路側壁の損傷								
-----------	------	------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

施設の状態等の概要	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							
-----------	----------	-----------	---------------------	--	--	--	--	--	--	--

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度								
-----------	------	---------------	--	--	--	--	--	--	--	--

長寿命化計画の内容	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
-----------	----	----------------	--	--	--	--	--	--	--	--

長寿命化計画の内容	実施予定時期	令和9年度								
-----------	--------	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

長寿命化計画の内容	対策費用 (百万円:概算)	1								
-----------	------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	54	道路台帳索引番号	Q-26	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道蕪崎 64 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	中島 3 号橋
施設の所在地	中島一丁目 2741 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12		幅員(車道幅員)	3.7
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 1 年 12 月								
	調査結果									
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度								
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和 6 年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	55	道路台帳索引番号	R-28	施設管理者	葦崎市
路線名	市道葦崎 73 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	夏目原橋
施設の所在地	中島二丁目 3231 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.1		幅員(車道幅員)	3.9
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 1 年 12 月	
	調査結果	防護柵不備、目地材などのずれ、脱落	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 6 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	56	道路台帳索引番号	Q-27	施設管理者	葦崎市
路線名	市道葦崎 75 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	中島 1 号橋
施設の所在地	中島一丁目 2858 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	13.5			幅員(車道幅員)	3			
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)							
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり		塗装使用の有無	別紙図面のとおり			
		支承型式	別紙図面のとおり		落橋防止の有無	別紙図面のとおり				
		橋台工形式	重力式橋台			基礎型式	直接基礎			
橋脚工形式				海岸からの距離	-					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 1 年 12 月								
	調査結果									
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。							
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度								
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和 6 年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	57	道路台帳索引番号	Q-27	施設管理者	韮崎市
路線名	市道韮崎 75 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	中島 2 号橋
施設の所在地	中島一丁目 2755 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.3		幅員(車道幅員)	15.3
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の 状態等 の概 要	点検診断日	令和 3 年 9 月	
	調査結果	・床版下面の下流側に生じている橋軸方向のひびわれから泥混じりの漏水が見られる。この上部の路面にも同方向のひびわれが発生しているため、下面まで貫通したひびわれに路面から水分が供給されている可能性がある。また、床版下面の上流側などにも路面からの水分供給が疑われる表面剥離等の変状が見られる。今後も床版に水が供給され続けると内部鉄筋の腐食などに繋がる恐れがあるため、本件においては、橋面防水等の止水対策を行い、橋面および下面のひびわれを補修しておくことが望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿 命化 計画 の内 容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 8 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	58	道路台帳索引番号	P-26	施設管理者	葦崎市
路線名	市道葦崎 79 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	宿裏橋
施設の所在地	富士見三丁目 2477 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	1973
供用年数	48	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.6		幅員(車道幅員)	3
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 1 年 12 月	
	調査結果	橋台:土砂堆積、橋名板(かな):変形・欠損	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 6 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	59	道路台帳索引番号	P-24	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道蕪崎 82 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	富士見上橋
施設の所在地	富士見一丁目 1162 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.5		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 2 年 1 月				
	調査結果					
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度				
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和 6 年度				
	対策費用 (百万円:概算)	0.5				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	60	道路台帳索引番号	P-26	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道蕪崎 84 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	中島 4 号橋
施設の所在地	中島一丁目 2696 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.1		幅員(車道幅員)	3
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 1 年 12 月				
	調査結果	防護柵不備				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度				
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和 6 年度				
	対策費用 (百万円:概算)	0.5				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	61	道路台帳索引番号	P-22	施設管理者	葦崎市
路線名	市道葦崎 95 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	若宮中橋
施設の所在地	若宮二丁目 968 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.4		幅員(車道幅員)	5.3
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 8 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	62	道路台帳索引番号	P-21	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道蕪崎 95 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	道喜橋
施設の所在地	若宮三丁目	起点からの距離		建設年度	1974
供用年数	47	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	道喜川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	13.5		幅員(車道幅員)	4.5
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎		
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 1 年 12 月	
	調査結果	土砂堆積	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 6 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	63	道路台帳索引番号	P-20	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道蕪崎 95 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	蕪崎 95-1 号橋
施設の所在地	大字南下条字下河原 101 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(4)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.7		幅員(車道幅員)	6.9
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 2 年 1 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 6 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	64	道路台帳索引番号	O-22	施設管理者	葦崎市
路線名	市道葦崎 97 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	振励橋
施設の所在地	若宮一丁目 554 番地 4 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.5		幅員(車道幅員)	5.5
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 1 年 12 月				
	調査結果	不法占用				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度				
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和 6 年度				
	対策費用 (百万円:概算)	0.5				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	65	道路台帳索引番号	O-22	施設管理者	葦崎市
路線名	市道葦崎 97 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	学校橋
施設の所在地	宮一丁目 621 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	1981
供用年数	40	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.5		幅員(車道幅員)	5.5
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 1 年 12 月								
	調査結果									
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度								
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和 6 年度								
	対策費用(百万円:概算)	0.5								

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	66	道路台帳索引番号	Q-22	施設管理者	葦崎市
路線名	市道葦崎 98 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	楯無堰 2 号橋
施設の所在地	上の山字大塚 2240 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(4)t	橋下条件	楯無堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.1		幅員(車道幅員)	7.8
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 1 月	
	調査結果	その他:水路側壁の損傷	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	67	道路台帳索引番号	P-22	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道蕪崎 102 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	新地 1 号橋
施設の所在地	字岩下字八重堂 643 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3		幅員(車道幅員)	2.8
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 1 年 12 月				
	調査結果	土砂堆積				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度				
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和 6 年度				
	対策費用 (百万円:概算)	0.5				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	68	道路台帳索引番号	P-22	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道蕪崎 102 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	新地 2 号橋
施設の所在地	岩下字八重堂 624 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.9		幅員(車道幅員)	2.6
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	69	道路台帳索引番号	Q-21	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道蕪崎 102 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	八重堂橋
施設の所在地	上の山字沼 2809 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(0.9)t	橋下条件	楯無堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.6		幅員(車道幅員)	2.7
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 1 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	70	道路台帳索引番号	P-26	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道蕪崎 115 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	中島 5 号橋
施設の所在地	中島一丁目 2567 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12		幅員(車道幅員)	1.6
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 1 年 12 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 6 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	71	道路台帳索引番号	Z1-14	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穂坂 18 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	上今井上橋
施設の所在地	上今井字中丸 1683 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3		幅員(車道幅員)	5.6
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 8 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	72	道路台帳索引番号	Z2-8	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穂坂 18 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	唐沢上橋
施設の所在地	大字	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	唐沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.5		幅員(車道幅員)	5.8
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 8 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	73	道路台帳索引番号	Z2-8	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穂坂 18 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	唐沢中橋
施設の所在地	大字	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	唐沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.1		幅員(車道幅員)	3.5
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 8 月	
	調査結果	その他:護岸ブロックの損傷	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	74	道路台帳索引番号	Z1-14	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穂坂 20 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	上組橋
施設の所在地	上今井字中丸 1893 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	燕沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.1		幅員(車道幅員)	3.5
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 8 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	75	道路台帳索引番号	V-20	施設管理者	韮崎市
路線名	市道穂坂 21 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	原橋
施設の所在地	三ツ沢字京塚 3143 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	用の沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.3		幅員(車道幅員)	4.8
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和 3 年 12 月	
	調査結果	<p>・上部工に目立った変状は見られず、概ね健全な状態を保っている。・各橋台の縦壁上部に生じているひびわれや鉄筋露出等の変状は、施工時のかぶり不足や締固め不足、初期ひびわれなどに起因するものと考えられる。いずれも局部的なもので比較的軽微であり、前回点検から目立った変化もないため経過観察とする。・路面の地覆脇に堆積している土砂は路面排水の滞水原因となり、下方に水分を供給して部材劣化を助長する要因となるため、排水樹の土砂詰まりと合わせて維持工事で改善しておくことが望ましい。・両橋台の縦壁に伸縮部から伝わったと思われる</p>	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 8 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	76	道路台帳索引番号	Q-19	施設管理者	葦崎市
路線名	市道穂坂 42 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	権現沢下橋
施設の所在地	宮久保字上手平 4945 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(1)t	橋下条件	権現沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.8		幅員(車道幅員)	3.1
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 1 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	77	道路台帳索引番号	R-19	施設管理者	韮崎市
路線名	市道穂坂 44 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	女夫橋
施設の所在地	宮久保字女夫石 5037 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	権現沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.6		幅員(車道幅員)	5.5
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和3年12月	
	調査結果	・床版下面に初期材齢時の乾燥収縮等に起因すると推察されるひびわれが生じているが、今のところ開口幅は比較的小さく、前回点検から大きく進行した様子も見られないため経過観察とする。また、床版下面や橋台の縦壁上部などに散見する鉄筋露出は施工に由来するかぶり不足や側方などから流れてくる雨水の影響等に起因するものと考えられる。いずれも局部的かつ小規模なもので、前回点検から目立った変化もないため経過観察とするが、予防保全的な対策として水切り等の整備を事前に行っておくと橋梁の長寿命化に繋がると考えられる。・防護柵は全体に	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和8年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	78	道路台帳索引番号	W-12	施設管理者	葦崎市
路線名	市道穂坂 47 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	水源中橋
施設の所在地	穂坂町宮久保 5876 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	朝穂堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.1		幅員(車道幅員)	3.6
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式			基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 8 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	79	道路台帳索引番号	X-12	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穂坂 47 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	水源上橋
施設の所在地	柳平字唐沢 339 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	権現沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	9.4			幅員(車道幅員)	3.6			
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)							
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり		塗装使用の有無	別紙図面のとおり			
		支承型式	別紙図面のとおり		落橋防止の有無	別紙図面のとおり				
		橋台工形式	重力式橋台			基礎型式	直接基礎			
橋脚工形式				海岸からの距離	-					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 1 年 12 月								
	調査結果									
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。							
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度								
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和 6 年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	80	道路台帳索引番号	V-14	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穂坂 51 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	お寺橋
施設の所在地	宮久保字宮久保 5471 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	権現沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.4		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 1 年 12 月				
	調査結果					
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度				
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和 6 年度				
	対策費用 (百万円:概算)	0.5				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	81	道路台帳索引番号	W-14	施設管理者	葦崎市
路線名	市道穂坂 51 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	倭文橋
施設の所在地	字宮久保字隆宮 6050 番地 3 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	朝穂堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.5		幅員(車道幅員)	4.3
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 8 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	82	道路台帳索引番号	Y-7	施設管理者	葦崎市
路線名	市道穂坂 54 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	古森上橋
施設の所在地	字柳平字古森 856 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	2000
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	権現沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	9.1			幅員(車道幅員)	4.9		
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)						
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり		塗装使用の有無	別紙図面のとおり		
		支承型式	別紙図面のとおり		落橋防止の有無	別紙図面のとおり			
		橋台工形式	重力式橋台			基礎型式	直接基礎		
橋脚工形式				海岸からの距離	-				
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 1 年 12 月							
	調査結果	上流側防護柵不備、橋台:土砂堆積							
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。						
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度							
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。							
	実施予定時期	令和 6 年度							
	対策費用 (百万円:概算)	0.5							

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	83	道路台帳索引番号	Y-8	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穂坂 55 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	古森下橋
施設の所在地	字柳平字久保の後 755 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	権現沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.5		幅員(車道幅員)	3.6
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 1 年 12 月				
	調査結果	防護柵不備、橋台:土砂堆積、残材				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度				
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和 6 年度				
	対策費用 (百万円:概算)	0.5				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	84	道路台帳索引番号	U-11	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穂坂 57 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	お寺上橋
施設の所在地	三之蔵字横吹 5163 番地 3 先	起点からの距離		建設年度	1980
供用年数	41	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	三之蔵沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.3		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 1 年 12 月	
	調査結果	土砂堆積	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 6 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	85	道路台帳索引番号	U-12	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穂坂 58 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	三之蔵橋
施設の所在地	三之蔵字山崎 5108 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	1978
供用年数	43	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	三之蔵沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	50.8		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 1 年 12 月								
	調査結果	不法占用、舗装：土砂堆積								
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度								
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和 6 年度								
	対策費用 (百万円：概算)	0.5								

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	86	道路台帳索引番号	T-12	施設管理者	葦崎市
路線名	市道穂坂 60 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	山崎橋
施設の所在地	字三之蔵字横吹 4892 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	桁橋(T 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	三之蔵沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.2		幅員(車道幅員)	4.6
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(T 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 1 年 12 月				
	調査結果	橋台: 土砂堆積、防護柵高さ不足、舗装: 土砂堆積				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度				
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和 6 年度				
	対策費用 (百万円:概算)	0.5				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	87	道路台帳索引番号	U-11	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穂坂 60 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	三之蔵橋
施設の所在地	三之蔵字横吹 5167 番地先	起点からの距離		建設年度	1980
供用年数	41	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	三之蔵沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.6		幅員(車道幅員)	4.5
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 1 年 12 月								
	調査結果	土砂堆積								
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度								
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和 6 年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	90	道路台帳索引番号	S-13	施設管理者	韮崎市
路線名	市道穂坂 67 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	三之蔵沢上橋
施設の所在地	三之蔵字日影平 4134 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	三之蔵沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	9.4		幅員(車道幅員)	5.2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和 3 年 9 月	
	調査結果	<p>・上部工の床版に目立った変状は見られず、概ね健全な状態を保っている。・A1 橋台上流側の沓座に堆積している土砂は点検の障害になるだけでなく、水分を含んで部材の劣化を助長する要因となるため除去作業が望まれる。その際は清掃等の一時的な対応ではなく、土留めを設置するなどの抜本的な対策が望まれる。・路面の地覆脇に見られる土砂堆積や草の自生も路面排水の滞水原因となり、下方に水分を供給して劣化を助長する要因になるため維持工事による定期的な管理が望まれる。</p>	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 8 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	91	道路台帳索引番号	R-14	施設管理者	韮崎市
路線名	市道穂坂 68 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	お寺橋
施設の所在地	三之蔵字西ノ前 3762 番地先	起点からの距離		建設年度	1984
供用年数	37	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	三之蔵沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	15.4		幅員(車道幅員)	5.3
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和3年12月	
	調査結果	<p>・G1 桁終点側(可動側)の桁端部がパラペットに接触している。また上部の伸縮装置もプレート同士が接触している。点検が夏季に近く遊間が最小となる時期の接触であることや、現状、支承部に傾きや沓座モルタルの欠損などの異常が見られないことなどから、構造的な重症度リスクは低いと考える。ただし、パラペットとの接触部を介して漏水が直接桁や支承に流れて腐食を助長したりするなど二次的な劣化要因になることも考えられるため、端部切断等により適切な遊間を確保しておくことが望ましい。・A2 橋台の堅壁に繁茂しているツタは点検時の妨げに</p>	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和8年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	92	道路台帳索引番号	R-16	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穂坂 71 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	横道橋
施設の所在地	宮久保字石原場 2777 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.5		幅員(車道幅員)	2.7
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 8 月								
	調査結果									
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度								
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和 9 年度								
	対策費用 (百万円:概算)	1								

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	93	道路台帳索引番号	P-16	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穂坂 73 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	神ノ木橋
施設の所在地	宮久保字神の木 2586 番地先	起点からの距離		建設年度	1975
供用年数	46	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	中央自動車道

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	35.6		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
橋脚工形式		海岸からの距離	-			
施設の状態等の概要	点検診断日	平成 28 年 2 月				
	調査結果					
	健全性の診断結果	Ⅲ (早期処置段階)	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度				
	内容	補修工事を実施。 5 年に 1 回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和 4 年度				
	対策費用 (百万円:概算)	60.5				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	55			0.5						
対策の内容・実施時期	補修工事			定期点検						

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	94	道路台帳索引番号	P-16	施設管理者	韮崎市
路線名	市道穂坂 75 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	出口橋
施設の所在地	三之蔵字出口 3499 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(6)t	橋下条件	三之蔵沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.4		幅員(車道幅員)	4.6
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の 状態等 の概 要	点検診断日	令和3年12月	
	調査結果	<p>・PC 桁の間詰め部全体に錆汁混じりの著しくつらら状になった遊離石灰の滲出が見られる。橋面などから水分が供給されていると考えられ、横締め鋼材の腐食などが懸念される状況である。また、G2～G4 桁下面の起点側に生じている橋軸方向のひびわれは、内部鋼材の腐食膨張に起因するもの、あるいは塩害や DEF(エトリンガイトの遅延生成)、ASR(アルカリシリカ反応)などによる劣化の可能性が考えられる。・上記損傷はいずれも橋面や側方などから供給される雨水やそれに溶けた凍結防止剤の塩分などの影響を受けて生じたものと推察されるため</p>	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿 命化 計 画 の 内 容	計画期間	令和4年度～令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和8年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	95	道路台帳索引番号	Q-19	施設管理者	葦崎市
路線名	市道穂坂 77 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	権現沢中橋
施設の所在地	宮久保字三百水 783 番地 15 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	楯無堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3		幅員(車道幅員)	3.9
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	96	道路台帳索引番号	Q-19	施設管理者	韮崎市
路線名	市道穂坂 77 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	権現沢上橋
施設の所在地	宮久保字三百水 783 番地 85 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	権現沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.5	幅員(車道幅員)	4.9
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)		
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台	基礎型式	直接基礎
橋脚工形式		海岸からの距離	—		

施設の 状態等 の概 要	点検診断日	令和 3 年 12 月	
	調査結果	<p>・主桁は全体的に塗装の変色があり、継手部やフランジなどの一部に局所的な点錆が見られるが、比較的点錆の密度が小さく、表面錆の広がりも軽微であるため経過観察とする。・デッキプレート床版に特筆すべき損傷は見られない。張出端部のコンクリート部に見られる表面剥離はセメント分の溶出に伴う表面劣化や凍害によるスケーリング等が考えられるが軽微なもので前回点検から目立った変化も無い。・両橋台にひびわれ等の変状が見られるが、いずれも局所的で、前回点検から目立った変化も見られないため経過観察とする。・支承は全基とも全体的に点錆</p>	
	健全性の 診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿 命化 計画 の内 容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 8 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	97	道路台帳索引番号	Q-14	施設管理者	韮崎市
路線名	市道穂坂 81 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	宮下橋
施設の所在地	三之蔵字西の前 3688 番地先	起点からの距離		建設年度	1976
供用年数	45	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	三之蔵沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	14		幅員(車道幅員)	8.2
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和 3 年 9 月	
	調査結果	<p>・床版下面に生じているひびわれは初期材齢時の乾燥収縮等に起因するものと推察する。遊離石灰の滲出も殆ど見られないため、ひびわれの貫通や路面からの水分供給等はないものと思われる。今後も著しい劣化進行の可能性は低いと判断するが、ひびわれが劣化因子の侵入経路となって部材の耐久性を低下させる要因になることも考えられるため、幅 0.2mm を超えるものは予防保全の観点から注入等により補修しておくことが望ましい。・下部工の胸壁天端や翼壁に生じている不規則な方向のひびわれは、初期凍害や ASR の可能性も考えられる。縦壁や胸壁の</p>	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 8 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	98	道路台帳索引番号	Q-15	施設管理者	韮崎市
路線名	市道穂坂 81 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	穂坂 81-1 号橋
施設の所在地	三之蔵字宮の下 3302 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	三之蔵沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.9		幅員(車道幅員)	7.9
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 3 年 9 月	
	調査結果	・床版下面の中央付近と下流側において、打継部とみられる箇所から茶色を呈したつらら状の遊離石灰の滲出が見られる。また、遊離石灰の周囲に生じている表面的な剥離は、橋面から水分が供給されたことで生じたものと推察される。遊離石灰の滲出状況などから考えると打継部は上面に貫通して開口している可能性が高く、内部鉄筋の腐食も懸念されるため、予防保全的な対策として橋面防水等を行っておくことが望ましい。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	長寿命化対策として、5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 8 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	99	道路台帳索引番号	U-13	施設管理者	葦崎市
路線名	市道穂坂 88 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	穂坂 88-1 号橋
施設の所在地	宮久保字保久原 5638 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	朝穂堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.5		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 8 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	101	道路台帳索引番号	Q-21	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穂坂 92 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	穂坂 92-1 号橋
施設の所在地	上の山字寺平 2812 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(0.9)t	橋下条件	楯無堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.5		幅員(車道幅員)	2.4
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 1 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	102	道路台帳索引番号	Z2-9	施設管理者	韮崎市
路線名	市道穂坂 95 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	穂坂 95-1 号橋
施設の所在地	穂坂町上今井 1819 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(6)t	橋下条件	ゴルフ場排水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.1		幅員(車道幅員)	7
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の 状態等 の概 要	点検診断日	令和 3 年 9 月	
	調査結果	<p>・床版下面のコンクリート表面が全体的に剥離しており、その中に小規模な鉄筋露出が多数発生している。施工に由来するかぶり不足や豆板、側方などから流れてくる雨水の影響等によって生じたものと考えられる。今後範囲が拡大する可能性もあるため、予防保全の観点から断面修復等により補修しておくことが望ましいが、修復箇所の再劣化や新たな鉄筋露出が発生する可能性もあるため、水切りの整備などの防水対策も合わせて行っておくことが望ましい。</p> <p>・上流終点側の路面の凹凸はパッチングにより一部補修されているが、補修が度々繰り返されているよう</p>	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿 命化 計 画 の 内 容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 8 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	103	道路台帳索引番号	O-18	施設管理者	韮崎市
路線名	市道藤井7号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	塩川取水水場橋
施設の所在地	北下条字宮木 905 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3		幅員(車道幅員)	2.4
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 9 月	
	調査結果	路上に軽微な損傷が見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和5年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	104	道路台帳索引番号	P-18	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道藤井7号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	岩根橋
施設の所在地	北下条字蔵之前 859番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC橋	型式	桁橋(T桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	塩川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	117.4		幅員(車道幅員)	2.5
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(T桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式	鉄筋コンクリート壁式橋脚		海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年12月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和6年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	105	道路台帳索引番号	O-22	施設管理者	韮崎市
路線名	市道藤井10号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	金山橋
施設の所在地	若宮一丁目647番地2先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.5		幅員(車道幅員)	5.2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和3年9月	
	調査結果	・上下部に特筆すべき損傷は見られず、橋梁は概ね健全な状態を保っていると判断される。・A1橋台の上流側の沓座に堆積した土砂は点検時の妨げとなったり、水分を含んで部材環境を悪化させる要因となるため除去しておく必要がある。・防護柵の上流終点側の支柱にボルトの脱落が見られるため維持工事による再設置が望まれる。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和8年度	
	対策費用(百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	106	道路台帳索引番号	O-21	施設管理者	葦崎市
路線名	市道藤井 17 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	清水橋
施設の所在地	南下条字水無 488 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	13.1		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 1 年 12 月								
	調査結果									
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度								
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和 6 年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	107	道路台帳索引番号	N-20	施設管理者	韮崎市
路線名	市道藤井 20 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	南下条中橋
施設の所在地	南下条字水無 434 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.5		幅員(車道幅員)	2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和 3 年 9 月	
	調査結果	<p>・G2 桁のコンクリート表面が薄く剥離している。セメント分の溶出に伴う表面劣化や凍害によるスケーリング等が考えられる。変状は G2 桁に限定されているため経過観察とするが、内部に水分が供給されている可能性もあるため今後の進行に注意が必要である。・A2 橋台の縦壁に漏水跡が見られる。伸縮装置からではなく側面から流れた雨水が伝わって来た可能性も考えられる。この部分は鋼橋のように腐食が懸念される鋼部材はほとんどなく、また橋台縦壁の漏水跡が見られる部分にも特に損傷が見られないことから当面経過観察とする。</p>	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 8 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	108	道路台帳索引番号	N-20	施設管理者	韮崎市
路線名	市道藤井 21 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	南下条上橋
施設の所在地	字南下条字山影 1801 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.5		幅員(車道幅員)	5.2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 3 年 9 月	
	調査結果	・主要部材に特筆すべき損傷は見られず概ね健全な状態を保っていると判断される。・防護柵端部の笠木にボルトのゆるみが見られるため維持工事により改善しておくことが望ましい。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 8 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	109	道路台帳索引番号	L-21	施設管理者	韮崎市
路線名	市道藤井 27 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	中央公園下橋
施設の所在地	南下条字滝坂 1255 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.1		幅員(車道幅員)	11.6
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 9 月				
	調査結果	損傷は見られず健全である。				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度								
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和 5 年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	110	道路台帳索引番号	N-19	施設管理者	韮崎市
路線名	市道藤井 33 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	山本橋
施設の所在地	北下条字榎田 1908 番地先	起点からの距離		建設年度	1988
供用年数	33	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.5	幅員(車道幅員)	5.2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋		
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台	基礎型式	直接基礎
橋脚工形式		海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 3 年 9 月	
	調査結果	・確認された変状はいずれも軽微なもので、橋梁は概ね健全な状態を保っていると判断される。・A1 橋台の下流側前方に置かれている占拠物は、点検の妨げとなるため撤去が望まれる。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 8 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	111	道路台帳索引番号	M-18	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道藤井 43 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	八幡橋
施設の所在地	北下条字榎田 78 番地先	起点からの距離		建設年度	1990
供用年数	31	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.9		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 2 年 1 月				
	調査結果					
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度				
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和 6 年度				
	対策費用(百万円:概算)	0.5				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	112	道路台帳索引番号	O-16	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道藤井44号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	絵見堂橋
施設の所在地	駒井字砂宮神 2933番地1先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.1		幅員(車道幅員)	3.9
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和6年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	113	道路台帳索引番号	M-17	施設管理者	韮崎市
路線名	市道藤井 53 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	当麻戸一号橋
施設の所在地	字坂井字琵琶田 355 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	1990
供用年数	31	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.6		幅員(車道幅員)	5.2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 3 年 9 月								
	調査結果	<p>・主要部材に特筆すべき損傷は見られず概ね健全な状態を保っていると判断される。・各橋台の縦壁に伸縮部の隙間から伝わったと思われる漏水跡が見られるが、本橋はコンクリート構造であり、唯一桁間部に鋼部材としてアンカーバーがあるが、そのほとんどの部分はコンクリート中に埋め込まれているため腐食の可能性は極めて低いと考える。今のところ漏水箇所周辺に目立った損傷もないため当面経過観察とする。</p>								
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度								
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和 8 年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	114	道路台帳索引番号	M-17	施設管理者	韮崎市
路線名	市道藤井 53 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	戸麻戸 2 号橋
施設の所在地	坂井字丸山 426 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	宮沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.1		幅員(車道幅員)	4.3
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 9 月	
	調査結果	軽微な損傷は見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	115	道路台帳索引番号	N-16	施設管理者	韮崎市
路線名	市道藤井 54 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	鳥居橋
施設の所在地	駒井字砂宮神 2749 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	藤井堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.5		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離		-	

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 1 月	
	調査結果	軽微な損傷は見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	116	道路台帳索引番号	K-16	施設管理者	葦崎市
路線名	市道藤井 63 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	天神橋
施設の所在地	駒井字天神前 597 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	JR中央本線

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	23.2		幅員(車道幅員)	2.5
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 8 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	117	道路台帳索引番号	L-15	施設管理者	韮崎市
路線名	市道藤井 70 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	駒井上野坂下一号橋
施設の所在地	字駒井字宮ノ前 1356 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	1990
供用年数	31	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	9t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.5		幅員(車道幅員)	5.2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 3 年 9 月	
	調査結果	<p>・主要部材に特筆すべき損傷は見られず概ね健全な状態を保っていると判断される。・A2 橋台の parapet 後方に生じている舗装の段差は、車両の走行性を阻害したり、橋梁構造に過度な衝撃荷重を与える原因となるため、パッチング等で補修しておくことが望ましい。・上流側の排水ますの土砂詰まりは、路面排水の滞水原因となるため維持工事により改善しておくことが望ましい。</p>	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 8 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	118	道路台帳索引番号	O-19	施設管理者	韮崎市
路線名	市道藤井 78 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	藤井 78-1 号橋
施設の所在地	字北下条字枇杷塚 1125 番地 13 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(4)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.7		幅員(車道幅員)	7
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 9 月	
	調査結果	路上に軽微な損傷は見られるものの、その他に損傷はなく健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	119	道路台帳索引番号	O-20	施設管理者	韮崎市
路線名	市道藤井 78 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	藤井 78-2 号橋
施設の所在地	北下条字枇杷塚 1125 番地 26 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(4)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.7		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 9 月	
	調査結果	軽微な損傷は見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	121	道路台帳索引番号	M-18	施設管理者	韮崎市
路線名	市道藤井 97 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	藤井 97-1 号橋
施設の所在地	北下条字山本 2013 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.7		幅員(車道幅員)	3.4
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	鉄筋コンクリート BOX		基礎型式	
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 9 月	
	調査結果	特に損傷は見られず健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	122	道路台帳索引番号	L-13	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道中田 10 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	金山橋
施設の所在地	中条字山本 275 番地先	起点からの距離		建設年度	1992
供用年数	29	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	9t	橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.7		幅員(車道幅員)	5
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式		
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の状態等の概要	点検診断日									
	調査結果	舗装の土砂堆積、路面の凹凸								
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和7年度								
	対策費用(百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	124	道路台帳索引番号	L-12	施設管理者	韮崎市
路線名	市道中田 18 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	榎田 1 号橋
施設の所在地	中条字金山 382 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	黒沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.5		幅員(車道幅員)	4.8
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 3 年 9 月								
	調査結果	<p>・主要部材に特筆すべき損傷は見られず概ね健全な状態を保っていると判断される。・A1 橋台の parapet 後方に生じている舗装の段差は、車両の走行性を阻害したり、橋梁構造に過度な衝撃荷重を与える原因となるため、パッチング等で補修しておくことが望ましい。・路面の地覆脇に堆積している土砂は路面排水の滞水原因となり、下方に水分を供給する要因になるため維持工事による定期的な管理が望まれる。</p>								
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度								
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和 8 年度								
	対策費用(百万円:概算)	0.5								

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	126	道路台帳索引番号	K-11	施設管理者	韮崎市
路線名	市道中田 25 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	藤塚橋
施設の所在地	中条字藤塚 2941 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 1 月	
	調査結果	取付の護岸工に漏水が見られるものの橋梁本体には変状は見られず健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	129	道路台帳索引番号	M-11	施設管理者	韮崎市
路線名	市道中田 33 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	後地橋
施設の所在地	中条字後地 1452 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(1)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.5		幅員(車道幅員)	3.1
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
橋脚工形式		海岸からの距離		-		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 3 年 9 月	
	調査結果	・床版に軽微な欠損と豆板が見られる程度で、橋梁は比較的健全な状態を保っていると判断される。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 8 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	132	道路台帳索引番号	K-12	施設管理者	韮崎市
路線名	市道中田 51 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	中田 51-1 号橋
施設の所在地	中条字長林 3717 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	9		幅員(車道幅員)	5.7
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の 状態等 の概 要	点検診断日	令和3年12月								
	調査結果	<p>・主桁や横桁の塗装は全体的には変色と密度の小さい点錆が見られる程度であるが、終点側の桁端部下フランジには局部的な腐食が見られ、膨張した錆と若干の板厚減少も見られる。また、支承も全て腐食が進行しており、特に終点側では層状に膨張して原型が崩れ始めている。上記腐食はいずれも狭隘な沓座環境に加え、伸縮部からの漏水と沓座の土砂堆積の影響を受けて劣化が進行したものと考えられる。本件では早期に伸縮部の止水対策と沓座の土砂清掃を行い、腐食箇所を補修を進めておくことが望ましいが、伸縮部などから流れた漏水は桁や張出部を伝わ</p>								
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。							

長寿 命化 計画 の内 容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和8年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	133	道路台帳索引番号	L-10	施設管理者	韮崎市
路線名	市道中田 52 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	中田 52-1 号橋
施設の所在地	中条字杉木 1862 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	藤井堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.5		幅員(車道幅員)	8.2
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離		-	

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 1 月	
	調査結果	軽微な損傷は見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	135	道路台帳索引番号	I-12	施設管理者	葦崎市
路線名	市道中田 21 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	新府橋
施設の所在地	中条字日影林 3182 番地先	起点からの距離		建設年度	2011
供用年数	10	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	A活荷重	橋下条件	JR中央本線

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	32.5		幅員(車道幅員)	6
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 8 月	
	調査結果	点検は、路上のみ実施 橋下面側は、JR コンサルにて実施	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度								
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和 9 年度								
	対策費用 (百万円:概算)	1								

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	136	道路台帳索引番号	F-8	施設管理者	韮崎市
路線名	市道穴山17号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	滝沢川上橋
施設の所在地	穴山町字下新田 8646番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	滝沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.6		幅員(車道幅員)	3.5
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離		-	

施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年9月					
	調査結果	軽微な損傷は見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。					
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。				

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度					
	内容	5年に1回の定期点検を行う。					
	実施予定時期	令和5年度					
	対策費用 (百万円:概算)	0.5					

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	137	道路台帳索引番号	F-8	施設管理者	韮崎市
路線名	市道穴山 35 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	滝沢川下橋
施設の所在地	穴山町字下新田 8621 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	滝沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.9		幅員(車道幅員)	3.5
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 9 月	
	調査結果	軽微な損傷は見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	138	道路台帳索引番号	H-4	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穴山 37 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	久保橋
施設の所在地	穴山町字窪林 1623 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	溝橋(カルバート)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	久保沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.1		幅員(車道幅員)	3.5
	施設の構造等	上部工形式	溝橋(カルバート)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	鉄筋コンクリート BOX		基礎型式	
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 2 年 1 月	
	調査結果	舗装の路面の凹凸	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 7 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	139	道路台帳索引番号	F-11	施設管理者	韮崎市
路線名	市道穴山 49 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	三ツ石下橋
施設の所在地	穴山町字三ツ石 8878 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(6)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.4		幅員(車道幅員)	2.6
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 3 年 9 月	
	調査結果	<p>・主要部材に特筆すべき損傷は見られず概ね健全な状態を保っていると判断される。・起終点にある鋼製の高欄に広く表面錆が広がっているため、美観、防錆等の観点から塗り替えが望ましい。・路面の地覆脇に堆積している土砂は路面排水の滞水原因となり、下方に水分を供給する要因になるため維持工事による定期的な管理が望まれる。</p>	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 8 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	140	道路台帳索引番号	G-13	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穴山 49 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	祖母石上橋
施設の所在地	上祖母石字姥石	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(1)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.8		幅員(車道幅員)	2.2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式			海岸からの距離	—	

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 2 年 1 月	
	調査結果	舗装の路面の凹凸	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 7 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	141	道路台帳索引番号	H-15	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穴山 49 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	祖母石中橋
施設の所在地	上祖母石字高砂	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(0.9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.6		幅員(車道幅員)	2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式			海岸からの距離	—	

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 2 年 1 月	
	調査結果	舗装の路面の凹凸	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 7 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	142	道路台帳索引番号	F-10	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穴山 51 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	穴山 51-1 号橋
施設の所在地	穴山町字三ツ石 8872 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.5		幅員(車道幅員)	6.1
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 2 年 1 月	
	調査結果	舗装の路面の凹凸	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 7 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	143	道路台帳索引番号	D-3	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道円野3号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	下河原橋
施設の所在地	上円井字下河原 1690番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	溝橋(カルバート)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6		幅員(車道幅員)	7.2
	施設の構造等	上部工形式	溝橋(カルバート)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	鉄筋コンクリートBOX		基礎型式	
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月	
	調査結果	舗装の路面の凹凸	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和7年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	144	道路台帳索引番号	C-7	施設管理者	葦崎市
路線名	市道円野5号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	仁反田上橋
施設の所在地	下円井字竹の後 194番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	溝橋(カルバート)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14t)	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.3		幅員(車道幅員)	4.9
	施設の構造等	上部工形式	溝橋(カルバート)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	鉄筋コンクリートBOX		基礎型式	
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月	
	調査結果	舗装の路面の凹凸	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和7年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	145	道路台帳索引番号	C-7	施設管理者	韮崎市
路線名	市道円野5号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	仁反田下橋
施設の所在地	下円井字竹の後 1519番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和3年9月	
	調査結果	<p>・主要部材に特筆すべき損傷は見られず概ね健全な状態を保っていると判断される。・上下流の地覆にひびわれ等の変状が見られるが、いずれも局部的で、前回点検から目立った変化も見られないため経過観察とする。・A2橋台の壁に伸縮部から伝わったと思われる漏水跡が見られるが、本橋はコンクリート構造であり、唯一桁間部に鋼部材としてアンカーバーがあるが、そのほとんどの部分はコンクリート中に埋め込まれているため腐食の可能性は極めて低いと考える。今のところ漏水箇所の周辺に目立った損傷も見られないため当面経過観察とする。</p>	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和8年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	151	道路台帳索引番号	C-4	施設管理者	韮崎市
路線名	市道円野 24 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	連合堰上橋
施設の所在地	上円井字島崎 160 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	連合堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.6		幅員(車道幅員)	3.5
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 1 月	
	調査結果	特に損傷は見られず健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	152	道路台帳索引番号	C-8	施設管理者	韮崎市
路線名	市道円野 27 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	下円井橋
施設の所在地	下円井字東幅 1559 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.5		幅員(車道幅員)	8.1
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離		-	

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 1 月	
	調査結果	軽微な損傷は見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	153	道路台帳索引番号	D-8	施設管理者	韮崎市
路線名	市道円野 28 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	東幅橋
施設の所在地	下円井字東幅 1617 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.2		幅員(車道幅員)	5.5
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 11 月	
	調査結果	床版に漏水・遊離石灰が見られ、部分的にはつららも確認できることから防水機能の強化が必要である。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	154	道路台帳索引番号	D-11	施設管理者	韮崎市
路線名	市道円野 29 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	瀬戸田橋
施設の所在地	入戸野字瀬戸田 27 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(0.9)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.7		幅員(車道幅員)	3
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 11 月	
	調査結果	軽微な損傷は見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	155	道路台帳索引番号	D-10	施設管理者	韮崎市
路線名	市道円野 29 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	北原橋
施設の所在地	入戸野字半縄田 350 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.1		幅員(車道幅員)	4.8
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の状態等の概要	点検診断日	令和3年12月								
	調査結果	・確認された変状はいずれも軽微なもので、橋梁は概ね健全な状態を保っていると判断される。								
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和8年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	156	道路台帳索引番号	D-11	施設管理者	韮崎市
路線名	市道円野 32 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	北山畑下橋
施設の所在地	入戸野字北山畑 796 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(0.9)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.8		幅員(車道幅員)	3.4
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 11 月	
	調査結果	A1 橋台に幅(1.3mm)の大きいひびわれが見られるため充填等の対応が必要である。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	157	道路台帳索引番号	D-11	施設管理者	韮崎市
路線名	市道円野 32 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	北山畑上橋
施設の所在地	入戸野字北山畑 756 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(1)t	橋下条件	入戸野沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.8		幅員(車道幅員)	4.8
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
橋脚工形式		海岸からの距離		-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 9 月								
	調査結果	A2 橋台(練石積み)の基礎部に洗堀がみられ、大きな欠損(石抜け)やひびわれも確認できる。洗堀により他の損傷も発生していることから早急な対応が必要である。								
	健全性の診断結果	Ⅲ (早期処置段階)	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度								
	内容	補修工事を実施。 5 年に 1 回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和 5 年度								
	対策費用 (百万円:概算)	5								

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		5.5								
対策の内容・実施時期		補修点検								

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	158	道路台帳索引番号	E-11	施設管理者	韮崎市
路線名	市道円野 33 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	上河原橋
施設の所在地	入戸野字下河原 1403 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(6)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.5		幅員(車道幅員)	4.3
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 1 月	
	調査結果	軽微な損傷は見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	159	道路台帳索引番号	F-16	施設管理者	韮崎市
路線名	市道清哲 11 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	山田橋
施設の所在地	青木字上北原 2578 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.5		幅員(車道幅員)	6.9
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式		海岸からの距離	-			
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 4 年 2 月				
	調査結果	・床版下面の側端部や橋台の前面に生じている表面剥離などの変状は、側方などから流れてくる雨水の影響で生じたものと推察される。前回点検から目立った変化も見られないため経過観察とするが、予防保全的な対策として水切りの設置等を事前に行っておくと橋梁の長寿命化に繋がると考えられる。・路面の地覆脇に見られる土砂堆積は路面排水の滞水原因となり、下方に水分を供給する要因になるため維持工事による定期的な管理が望まれる。				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度				
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和 8 年度				
	対策費用 (百万円:概算)	0.5				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	160	道路台帳索引番号	F-17	施設管理者	韮崎市
路線名	市道清哲12号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	上北原橋
施設の所在地	青木字上北原 2521番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5		幅員(車道幅員)	6
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和3年12月								
	調査結果	・確認された変状はいずれも局部的なもので、前回点検から目立った変化も無いため経過観察とする。								
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和8年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	161	道路台帳索引番号	H-21	施設管理者	韮崎市
路線名	市道清哲 27 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	原橋
施設の所在地	青木字原 2075 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.9		幅員(車道幅員)	7
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の状態等の概要	点検診断日									
	調査結果									
	健全性の診断結果	()								

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和5年度								
	対策費用(百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	162	道路台帳索引番号	I-23	施設管理者	韮崎市
路線名	市道清哲 31 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	神ノ木橋
施設の所在地	樋ノ口字中西 355 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	その他	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.9		幅員(車道幅員)	6.5
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	鉄筋コンクリート BOX 逆T式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式		海岸からの距離	-			
施設の状態等の概要	点検診断日	令和 4 年 1 月				
	調査結果	・上流側のボックス頂版部と下流側の RC 床版部ともに軽微な表面剥離や鉄筋露出が見られるが、前回点検から目立った変化はないため経過観察とする。・RC 製の防護柵に散見する鉄筋露出は予防保全の観点から補修が望ましい。・防護柵の支柱基部に生じている地覆の欠損は、衝突荷重に対する耐荷力保持のため補修が望ましい。				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度				
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和 8 年度				
	対策費用 (百万円:概算)	0.5				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	163	道路台帳索引番号	H-24	施設管理者	韮崎市
路線名	市道清哲 31 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	水上橋
施設の所在地	水上字家の前 108 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	木橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	堅沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	22.6		幅員(車道幅員)	2.9
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台 丸太木橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和 4 年 1 月	
	調査結果	<p>・主部材に使用されている丸太全体に干割れなどの経年劣化が見られ、橋台や橋脚上の支点部では主桁や受け台の一部が腐朽し崩れかけている。A1 側では単管パイプで一部桁を支えるように応急処置がされているが心許ない。支点部の腐朽はまだ全体には及んでいないため緊急を要する状態ではないと判断するが、P2 上部の腐朽は進行しており、今後路面の段差や傾き、最悪の場合は桁の崩落などに繋がる恐れがあるため早期の対策が必要である。なお、現地には制限荷重 2 トンの看板があるが、それを無視して通過している車両も見受けられたため早急の補修と</p>	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 8 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	164	道路台帳索引番号	I-24	施設管理者	韮崎市
路線名	市道清哲 35 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	堅沢橋
施設の所在地	武田字西海道 49 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	1979
供用年数	42	種別	鋼橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	堅沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	23.1		幅員(車道幅員)	5
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 3 年 1 月	
	調査結果	<p>・A1(可動)側の G1 桁端部と胸壁との遊間が僅かで、夏季には桁が胸壁に接触していることが予想される。また、この上部にある張出床版部と胸壁は既に衝突していて、橋軸方向の変位が完全に拘束された状態である。A2 側の固定支承には既に支承の傾きやモルタルの欠損が生じており、A1 側の遊間異常との関連が疑われる状況であり、今後の進行が懸念される。・上記遊間の異常に関連する損傷は、部材機能の性能低下を引き起こす可能性がある。中でも特に問題となっているのは起点下流側の床版と胸壁の接触であると考えられるため、原因の特定の後、</p>	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 8 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	165	道路台帳索引番号	I-25	施設管理者	韮崎市
路線名	市道神山11号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	柳田橋
施設の所在地	北宮地字南反保 633番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.7		幅員(車道幅員)	5
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年11月	
	調査結果	軽微な損傷は見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和5年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	166	道路台帳索引番号	I-26	施設管理者	韮崎市
路線名	市道神山 16 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	神山 16-1 号橋
施設の所在地	鍋山字城山 1054 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(0.9)t	橋下条件	八幡沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.2		幅員(車道幅員)	3.9
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 1 月	
	調査結果	地覆に大きな欠損が見られるため修復が必要である。床版に面積の大きい剥離・鉄筋露出が見られ、鉄筋も腐食が進行しているため断面修復等が必要である。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	167	道路台帳索引番号	I-26	施設管理者	韮崎市
路線名	市道神山 19 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	妻神橋
施設の所在地	北宮地字妻神 984 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	八幡沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.2		幅員(車道幅員)	6.2
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離		-	

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 1 月				
	調査結果	床版に面積の大きい剥離・鉄筋露出が見られ、鉄筋も腐食が進行しているため断面修復等の対応が必要である。				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。			

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度				
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和 5 年度				
	対策費用 (百万円:概算)	0.5				

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	168	道路台帳索引番号	J-26	施設管理者	韮崎市
路線名	市道神山 22 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	古山寺橋
施設の所在地	鍋山字上小路 1770 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.1		幅員(車道幅員)	4.6
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 11 月	
	調査結果	軽微な損傷は見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	169	道路台帳索引番号	J-27	施設管理者	韮崎市
路線名	市道神山 24 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	上小路下橋
施設の所在地	鍋山字上小路 1780 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(0.9)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.8		幅員(車道幅員)	4.5
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 11 月	
	調査結果	軽微な損傷は見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	170	道路台帳索引番号	K-26	施設管理者	韮崎市
路線名	市道神山 25 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	白沢下橋
施設の所在地	鍋山字押茂 1378 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	白沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.3		幅員(車道幅員)	5.2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和3年9月								
	調査結果	<p>・主要部材に特筆すべき損傷は見られず概ね健全な状態を保っていると判断される。・A2 橋台の縦壁に見られる漏水跡は、伸縮装置あるいは側面から流れた雨水が伝わって来たものと推察される。今のところ漏水箇所周辺に目立った損傷も見られないため当面は経過観察とする。・排水ますの土砂詰まりは、路面排水の滞水原因となり、部材劣化を助長する要因となるため維持工事により改善しておくことが望ましい。</p>								

施設の状態等の概要	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							
-----------	----------	--------	---------------------	--	--	--	--	--	--	--

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和8年度								
	対策費用(百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	171	道路台帳索引番号	J-28	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道神山 29 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	上小路上橋
施設の所在地	鍋山字山田 2037 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	混合橋	型式	桁橋(I 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	白沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	9.4		幅員(車道幅員)	3
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(I 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 2 年 1 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 7 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	172	道路台帳索引番号	K-28	施設管理者	韮崎市
路線名	市道神山 31 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	山田橋
施設の所在地	鍋山字山田 2063 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(1)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.5		幅員(車道幅員)	3.9
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 11 月	
	調査結果	軽微な損傷は見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	173	道路台帳索引番号	L-25	施設管理者	韮崎市
路線名	市道神山 36 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	御堂橋
施設の所在地	鍋山字釜無河原 151 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	白沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.1		幅員(車道幅員)	7.2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 3 年 9 月								
	調査結果	・確認された変状はいずれも局部的かつ軽微なもので、前回点検から目立った変化も無いため経過観察とする。								
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度								
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和 8 年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	174	道路台帳索引番号	I-24	施設管理者	韮崎市
路線名	市道神山 38 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	神山 38-1 号橋
施設の所在地	武田字西海道 101 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(0.9)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.7		幅員(車道幅員)	4.5
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離		-	

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 11 月	
	調査結果	軽微な損傷は見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	175	道路台帳索引番号	K-29	施設管理者	韮崎市
路線名	市道旭 10 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	桜木上橋
施設の所在地	上条北割字桜木 1980 番地 18 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(1)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.5		幅員(車道幅員)	4.5
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 11 月	
	調査結果	軽微な損傷は見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	176	道路台帳索引番号	L-30	施設管理者	韮崎市
路線名	市道旭 18 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	桜木中橋
施設の所在地	上条北割字桜木 2163 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(1)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.5		幅員(車道幅員)	3.8
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 11 月	
	調査結果	軽微な損傷は見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	177	道路台帳索引番号	L-30	施設管理者	韮崎市
路線名	市道旭 20 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	桜木下橋
施設の所在地	上条北割字桜木 2167 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(1)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.1		幅員(車道幅員)	3.7
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 11 月	
	調査結果	主要部材に着目し判定を I とする。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	178	道路台帳索引番号	J-33	施設管理者	韮崎市
路線名	市道旭 22 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	鎌倉橋
施設の所在地	上条北割字鎌倉 3965 番地 3 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	-9	橋下条件	御坊沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.4		幅員(車道幅員)	3
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	179	道路台帳索引番号	L-31	施設管理者	韮崎市
路線名	市道旭 24 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	山口下橋
施設の所在地	上条北割字鎌倉 2738 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	御坊沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.4		幅員(車道幅員)	4.8
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和 3 年 1 月	
	調査結果	<p>・G3 桁の上フランジなどに広く表面錆が生じており、張出床版部には広く表面的な剥離が見られ、軽微な鉄筋露出も発生している。これらは水切りのない張出床版端部から伝わってくる雨水の影響を受けたものと考えられるため、張出部には水切りを設置しておくことが望ましい。・橋座面では伸縮部から漏水している形跡があり、橋座の土砂堆積の影響も受けて、支承のアンカーナットには表面錆が生じている。今後も腐食が進行することが予想されるため、伸縮部の止水対策と沓座の土砂清掃を行い、腐食した支承の塗装を行っておくことが望ましい。また、ア</p>	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 8 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	180	道路台帳索引番号	L-30	施設管理者	韮崎市
路線名	市道旭 26 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	いもじや橋
施設の所在地	上条北割字鎌倉 2748 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.3		幅員(車道幅員)	5.9
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離		-	

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 11 月					
	調査結果	軽微な損傷は見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。					
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。				

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度								
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和 5 年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	181	道路台帳索引番号	M-31	施設管理者	葦崎市
路線名	市道旭 28 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	本沢橋
施設の所在地	上条北割字宮下 3053 番地先	起点からの距離		建設年度	1973
供用年数	48	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	割羽沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.7		幅員(車道幅員)	3
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	182	道路台帳索引番号	L-31	施設管理者	葦崎市
路線名	市道旭 32 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	山口中橋
施設の所在地	上条北割字鎌倉 3927 番地 7 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	御坊沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.4		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式		
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月								
	調査結果	下部工の沈下・傾斜による評価は E2 となっているが、前回点検時からの進行がほとんどなく、橋梁内側に傾斜していることより、落橋の恐れはないと考えられる。そのため、道路橋の健全性はⅢと判断する。								
	健全性の診断結果	Ⅲ (早期処置段階)	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度								
	内容	補修工事を実施。 5 年に 1 回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和 4 年 ~ 令和 7 年								
	対策費用 (百万円:概算)	65.4								

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	14.9			50		0.5				
対策の内容・実施時期	設計点検			補修工事		定期点検				

備 考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	183	道路台帳索引番号	L-32	施設管理者	韮崎市
路線名	市道旭 34 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	宮下中橋
施設の所在地	上条北割字鎌倉 3875 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(1)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.8		幅員(車道幅員)	7.2
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 11 月	
	調査結果	床版に漏水・遊離石灰が見られ、部分的にはつららも確認できることから防水機能の強化が必要である。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	184	道路台帳索引番号	N-32	施設管理者	葦崎市
路線名	市道旭 35 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	築地橋
施設の所在地	上条東割字築地 3143 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	割羽沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.9		幅員(車道幅員)	3
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	185	道路台帳索引番号	L-33	施設管理者	韮崎市
路線名	市道旭 37 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	小曾根上橋
施設の所在地	上条中割字小曾根 2086 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.5		幅員(車道幅員)	6.2
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 11 月	
	調査結果	軽微な損傷は見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	186	道路台帳索引番号	L-34	施設管理者	韮崎市
路線名	市道旭 40 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	小曾根下橋
施設の所在地	上条中割字鍛冶屋 2025 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.4		幅員(車道幅員)	3.7
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 11 月	
	調査結果	軽微な損傷は見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	187	道路台帳索引番号	L-34	施設管理者	韮崎市
路線名	市道旭 47 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	かじや上橋
施設の所在地	上条中割字小曾根 2044 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.8		幅員(車道幅員)	7.1
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 11 月	
	調査結果	軽微な損傷は見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	188	道路台帳索引番号	L-35	施設管理者	韮崎市
路線名	市道旭 51 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	かじや下橋
施設の所在地	上条中割字鍛冶屋 1871 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.6		幅員(車道幅員)	4.4
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 11 月	
	調査結果	軽微な損傷は見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	189	道路台帳索引番号	N-35	施設管理者	葦崎市
路線名	市道旭 52 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	仲山橋
施設の所在地	上条中割字竹之花 17 番地先	起点からの距離		建設年度	1973
供用年数	48	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	大門沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.2			幅員(車道幅員)	3		
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり		塗装使用の有無	別紙図面のとおり		
			支承型式	別紙図面のとおり		落橋防止の有無	別紙図面のとおり		
		橋台工形式	重力式橋台			基礎型式			
		橋脚工形式				海岸からの距離	-		
施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月							
	調査結果								
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。						
長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度							
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。							
	実施予定時期	令和 9 年度							
	対策費用 (百万円:概算)	1							

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	190	道路台帳索引番号	L-36	施設管理者	韮崎市
路線名	市道旭 57 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	山寺橋
施設の所在地	上条南割字上寺 1984 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.5		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 11 月	
	調査結果	軽微な損傷は見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	191	道路台帳索引番号	L-36	施設管理者	韮崎市
路線名	市道旭 59 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	山寺下橋
施設の所在地	上条南割字山田 2288 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.5		幅員(車道幅員)	3.9
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 11 月	
	調査結果	軽微な損傷は見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	192	道路台帳索引番号	M-39	施設管理者	葦崎市
路線名	市道旭 70 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	旭団地橋
施設の所在地	上条南割字外御勅使 3314 番地	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.2		幅員(車道幅員)	4.7
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 1 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	193	道路台帳索引番号	K-32	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道旭 77 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	旭 77-1 号橋
施設の所在地	上条北割字鎌倉 3946 番地 9 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	御坊沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	9.5		幅員(車道幅員)	3
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	194	道路台帳索引番号	O-34	施設管理者	葦崎市
路線名	市道大草 32 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	前田橋
施設の所在地	下条西割字川崎 436 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	1964
供用年数	57	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	10t	橋下条件	割羽沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.5		幅員(車道幅員)	2.5
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	195	道路台帳索引番号	N-35	施設管理者	葦崎市
路線名	市道大草 32 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	漆田橋
施設の所在地	上条東割字羽根前 876-1 番地	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	大門沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.9		幅員(車道幅員)	2.5
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	196	道路台帳索引番号	Q-36	施設管理者	葦崎市
路線名	市道大草 46 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	丸林橋
施設の所在地	下条中割字清水 688 番地先	起点からの距離		建設年度	1990
供用年数	31	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	割羽沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	16.9		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	198	道路台帳索引番号	P-30	施設管理者	葦崎市
路線名	市道龍岡 14 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	古川 6 号橋
施設の所在地	若尾新田字供養塚 929 番地 3 先	起点からの距離		建設年度	2012
供用年数	9	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11		幅員(車道幅員)	5.2
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月								
	調査結果									
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度								
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和 9 年度								
	対策費用 (百万円:概算)	1								

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	199	道路台帳索引番号	R-33	施設管理者	葦崎市
路線名	市道龍岡 18 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	力石上橋
施設の所在地	下条東割字力石	起点からの距離		建設年度	2001
供用年数	20	種別	PC 橋	型式	桁橋(T 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	A活荷重	橋下条件	古川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	40.6		幅員(車道幅員)	5
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(T 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式			
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 2 年 1 月	
	調査結果	落書き、鳥の巣	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 7 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	200	道路台帳索引番号	R-33	施設管理者	葦崎市
路線名	市道龍岡 18 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	力石中橋
施設の所在地	下条東割字力石 1406 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(9)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.8		幅員(車道幅員)	4.8
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月								
	調査結果	その他:水路側壁の損傷								
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度								
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和 9 年度								
	対策費用 (百万円:概算)	1								

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	201	道路台帳索引番号	U-38	施設管理者	葦崎市
路線名	市道龍岡 18 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	堀切橋
施設の所在地	竜岡町下条南割 1734 番地先	起点からの距離		建設年度	1978
供用年数	43	種別	鋼橋	型式	桁橋(箱桁(合成))
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	御勅使川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	82.2		幅員(車道幅員)	5.2
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(箱桁(合成))			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式		基礎型式			
橋脚工形式		海岸からの距離		—		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 11 月								
	調査結果	改修済								
	健全性の診断結果	Ⅲ (早期処置段階)	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度								
	内容	補修工事を実施。 5 年に 1 回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	実施済(令和 3 年)								
	対策費用 (百万円:概算)	1								

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	202	道路台帳索引番号	Q-32	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道龍岡 19 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	戸尻坂上下橋
施設の所在地	下条東割字力石 1742 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	古川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.2		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	203	道路台帳索引番号	R-33	施設管理者	葦崎市
路線名	市道龍岡 20 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	阿寺沢橋
施設の所在地	下条東割字力石 1397 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(2)t	橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.2		幅員(車道幅員)	8.2
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	204	道路台帳索引番号	R-33	施設管理者	葦崎市
路線名	市道龍岡 20 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	力石下橋
施設の所在地	下条東割字力石 252 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	2001
供用年数	20	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	A 活荷重	橋下条件	古川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	17.7		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
		橋脚工形式			海岸からの距離	—

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月								
	調査結果									
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度								
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和 9 年度								
	対策費用 (百万円:概算)	1								

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	205	道路台帳索引番号	Q-36	施設管理者	葦崎市
路線名	市道龍岡 35 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	石宮橋
施設の所在地	下条南割字石宮 731 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	1975
供用年数	46	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	(14)t	橋下条件	割羽沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	23.4		幅員(車道幅員)	3.5
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	206	道路台帳索引番号	R-37	施設管理者	葦崎市
路線名	市道龍岡 37 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	丸山橋
施設の所在地	下条南割字石宮 995 番地 40 先	起点からの距離		建設年度	1993
供用年数	28	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	割羽沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	23		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月	
	調査結果	G2 桁においてソールプレートが可動側と固定側で反対に取り付けられている。しかし、これが原因で落橋に至ることはないため評価はⅡとした。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	207	道路台帳索引番号	R-36	施設管理者	葦崎市
路線名	市道龍岡 39 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	中道橋
施設の所在地	下条南割字石宮 852 番地先	起点からの距離		建設年度	1993
供用年数	28	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	割羽沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	16.9		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	208	道路台帳索引番号	L-10	施設管理者	韮崎市
路線名	市道中田 53 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	中河原跨道橋
施設の所在地	中田町中条字中河原 1800 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	1998
供用年数	23	種別	その他	型式	トラス橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	国道 141 号

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	88.8		幅員(車道幅員)	3
	施設の構造等	上部工形式	トラス橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	次項詳細図参照		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和 3 年 12 月	
	調査結果	<p>・主構部材のリングや鋼製の床版下面、支承部のベースプレートや鋼製脚などに広く塗装の変色や点錆が見られ局部的な塗膜の剥離や表面錆なども生じているが、錆の発生密度は比較的小さく前回点検から著しく進行している様子も見られない。錆の発生状況から判断すると現時点での補修は不要と考えられるが、特徴的な外観で人目を引く構造物であるため、美観上の観点からはなるべく劣化が軽微な内に補修を行っておくことが望ましい。・階段内部の主構部材の上に堆積している鳥のフンは点検の妨げとなり、美観、衛生上も好ましくない。また、放置すると腐</p>	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 8 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	209	道路台帳索引番号	S-37	施設管理者	韮崎市
路線名	市道龍岡1号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	真葛下橋
施設の所在地	下条南割字宮本 147番	起点からの距離		建設年度	1998
供用年数	23	種別	鋼橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	B活荷	橋下条件	割羽沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	35.5		幅員(車道幅員)	9.8
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台 次項詳細図参照		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和3年12月	
	調査結果	<p>・耐候性鋼材の主構部材に特に変状等は見られず概ね健全な状態である。・床版下面に生じているひびわれは若材齢時の温度や乾燥等に起因する初期ひびわれであると推察する。施工に由来するひびわれで進行性はあまりないと判断されるが、幅0.2mmを超えて開口が目立つものは予防保全の観点から注入等により補修しておくことが望ましい。また、歩道部直下のパネルでは遊離石灰の滲出が散見し、前回点検から滲出量が増加している箇所もあるため、今後さらに滲出量が増加したり錆汁の混入が認められるような場合は橋面防水の補修も望まれる。・橋台の</p>	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和8年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	210	道路台帳索引番号	K-8	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道中田 54 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	せせらぎ団地橋
施設の所在地	穴山町字下本田 236 番地 5 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.5		幅員(車道幅員)	7.2
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 8 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	長寿命化対策として、5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	211	道路台帳索引番号	H-18	施設管理者	葦崎市
路線名	市道清哲2号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	清哲2-1号橋
施設の所在地	青木字下河原 755 番地1先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	常光寺沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.7		幅員(車道幅員)	11.2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月								
	調査結果	舗装の路面の凹凸								
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和7年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	213	道路台帳索引番号	G-19	施設管理者	葦崎市
路線名	市道清哲10号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	常光寺下橋
施設の所在地	青木字南田(常光寺先)	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	常光寺沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.8		幅員(車道幅員)	4.5
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成29年8月	
	調査結果	その他:水路側壁の損傷	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度	
	内容	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和9年度	
	対策費用(百万円:概算)	1	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	215	道路台帳索引番号	J-26	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道神山 39 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	八幡沢橋
施設の所在地	神山町鍋山	起点からの距離		建設年度	1971
供用年数	50	種別	鋼橋	型式	桁橋(I 桁(合成))
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	20t	橋下条件	八幡沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	16.4		幅員(車道幅員)	8.1
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(I 桁(合成))			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
橋台工形式	扶壁式橋台		基礎型式			
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月	
	調査結果	主桁(主構)遊間異常 支承ゆるみ・脱落	
	健全性の診断結果	Ⅲ (早期処置段階)	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	補修工事を実施。 5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 4 年 ~ 令和 5 年	
	対策費用 (百万円:概算)	74	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	43.5	30				0.5				
対策の内容・実施時期	補修点検	補修工事				定期点検				

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	216	道路台帳索引番号	J-27	施設管理者	韮崎市
路線名	市道神山 39 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	白沢橋
施設の所在地	神山町鍋山	起点からの距離		建設年度	1963
供用年数	58	種別	RC 橋	型式	桁橋(T 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	白沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.7		幅員(車道幅員)	5.6
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(T 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
橋台工形式	重力式橋台		基礎型式			
橋脚工形式				海岸からの距離	—	

施設の 状態等 の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月	
	調査結果	A2 支承は機能障害となっているが、落橋に至る損傷ではない。そのため、評価Ⅲと判断する。(防食機能の劣化)	
	健全性の 診断結果	Ⅲ (早期処置段階)	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。

長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	補修工事を実施。 5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 6 年 ~ 令和 7 年	
	対策費用 (百万円:概算)	100	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5		50	50		0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検		補修工事	補修工事		定期点検				

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

個別施設整理番号	217	道路台帳索引番号	K-28	施設管理者	韮崎市
路線名	市道神山 39 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	甘利沢橋
施設の所在地	神山町鍋山～上条北割	起点からの距離		建設年度	1964
供用年数	57	種別	PC 橋	型式	桁橋(T 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	甘利沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	31.7		幅員(車道幅員)	6.2
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(T 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和 4 年 1 月	
	調査結果	<p>・主桁には外観上特筆すべき変状は見られないため比較的健全な状態を保っていると判断される。なお、本橋梁の竣工年から推察すると、主桁の PC 鋼材は一部が上縁定着されているものと予想される。この場合、雨水が上縁定着部等を介してシース内に浸入していると PC 鋼材の腐食等が潜在的に生じている可能性もあり、今後これに起因する変状が顕在化することも考えられるため、引き続き注意深い観察と点検が望まれる。・床版の横締め定着部には一部定着金具の露出と表面錆が見られるが、著しい腐食等には至っていないため緊張力には殆ど影響はないもの</p>	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 8 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	218	道路台帳索引番号	L-38	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道旭 90 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	久保橋
施設の所在地	上条南割	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.7		幅員(車道幅員)	22.9
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	PC BOX 形式		基礎型式	
	橋脚工形式			海岸からの距離	—	

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 1 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	219	道路台帳索引番号	L-35	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道旭 90 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	大門沢橋
施設の所在地	旭町上条中割鍛冶屋～上条南割	起点からの距離		建設年度	1958
供用年数	63	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	20t	橋下条件	大門沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12		幅員(車道幅員)	5.5
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	220	道路台帳索引番号	D-3	施設管理者	葦崎市
路線名	市道円野 10 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	円野 10 号橋
施設の所在地	上円井字下古河原 4844 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.4		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 1 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	221	道路台帳索引番号	C-4	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道円野 22 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	円野 22 号橋
施設の所在地	上円井字石の坪 4614 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3		幅員(車道幅員)	5
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	222	道路台帳索引番号	C-5	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道円野 23 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	円野 23 号橋
施設の所在地	上円井字嶋崎 4590 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.2		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 2 年 1 月	
	調査結果	舗装の路面の凹凸	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和 7 年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	223	道路台帳索引番号	C-4	施設管理者	葦崎市
路線名	市道円野 34 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	円野 34 号橋
施設の所在地	上円井字嶋崎 4576 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.7		幅員(車道幅員)	4.1
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
		橋台工形式	鉄筋コンクリートBOX		基礎型式	
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 1 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	224	道路台帳索引番号	Q-27	施設管理者	葦崎市
路線名	市道葦崎 60 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	葦崎 60-2 号橋
施設の所在地	本町三丁目 2341 番地 5 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.2		幅員(車道幅員)	8.6
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 9 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	225	道路台帳索引番号	N-24	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道蕪崎 37 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	蕪崎 37-1 号橋
施設の所在地	水神 1 丁目 4734 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	水路

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.3		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 1 年 12 月	
	調査結果	A1 橋台胸壁にひびわれが見られたほかは損傷はなく、ほぼ健全といえる。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 6 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備 考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	226	道路台帳索引番号	D-11	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道円野 35 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	戸沢南橋
施設の所在地	入野字前田 1125 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	入野沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.1		幅員(車道幅員)	6.5
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 29 年 8 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 9 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	1	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)	0.5					0.5				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	227	道路台帳索引番号	J-22	施設管理者	葦崎市
路線名	市道神山2号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	美鈴橋
施設の所在地	神山町大字武田字立沢地内	起点からの距離		建設年度	1991
供用年数	30	種別	鋼橋	型式	桁橋(H桁(合成))
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	20t	橋下条件	堅沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	69.9		幅員(車道幅員)	8.3
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H桁(合成))			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月	
	調査結果	主桁腐食	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度
	内容	5年に1回の定期点検を行う。
	実施予定時期	令和7年度
	対策費用 (百万円:概算)	0.5

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	228	道路台帳索引番号	H-18	施設管理者	葦崎市
路線名	市道神山2号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	神山2-1号橋
施設の所在地	青木字下河原 769 番地先	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC 橋	型式	溝橋(カルバート)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	常光寺沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	3.7		幅員(車道幅員)	8.3
	施設の構造等	上部工形式	溝橋(カルバート)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	鉄筋コンクリートBOX		基礎型式	
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月								
	調査結果	舗装の土砂堆積								
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和7年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	229	道路台帳索引番号	G-16	施設管理者	韮崎市
路線名	市道神山2号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	原山橋
施設の所在地	清哲町青木字山田地内	起点からの距離		建設年度	2004
供用年数	17	種別	PC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	市道 清哲1号線

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.5		幅員(車道幅員)	10.4
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和3年12月	
	調査結果	<p>・主要部材に特筆すべき損傷は見られず橋梁は概ね健全な状態である。・路面の地覆脇に見られる土砂堆積や草の自生は路面排水の滞水原因となり、下方に水分を供給する要因になるため維持工事による定期的な管理が望まれる。また、歩道部のパラペット後方に生じている舗装の段差は、利用者の安全を維持するためパッチング等で補修しておくことが望ましい。・路面の終点下り線側に円形の細かい5mm未満のひびわれと窪みが見られる。今後ポットホールに進行したり、補修後の再劣化を繰り返すような状況になった場合は、床版上面の土砂化の可能性なども</p>	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和8年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	230	道路台帳索引番号	G-15	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道神山2号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	小桐下橋
施設の所在地	清哲町青木字山田地内	起点からの距離		建設年度	2005
供用年数	16	種別	鋼橋	型式	桁橋(H桁(合成))
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	B活荷重	橋下条件	高川南沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	73		幅員(車道幅員)	9
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H桁(合成))			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
橋脚工形式	鉄筋コンクリート橋脚 1基		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月	
	調査結果	土砂堆積	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和7年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

- 適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
- 予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	231	道路台帳索引番号	E-12,13	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道神山2号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	新唐沢橋
施設の所在地	清哲町折居字三宮寺地内	起点からの距離		建設年度	1999
供用年数	22	種別	鋼橋	型式	桁橋(箱桁(合成))
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	B活荷重	橋下条件	唐沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	56.5		幅員(車道幅員)	7
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(箱桁(合成))			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年1月								
	調査結果	主桁の防食機能の劣化								
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和7年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	232	道路台帳索引番号	D-9	施設管理者	韮崎市
路線名	市道神山2号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	戸沢下橋
施設の所在地	円野町入戸野字上河原地内	起点からの距離		建設年度	2003
供用年数	18	種別	鋼橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	B活荷重	橋下条件	戸沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	104.2		幅員(車道幅員)	9.8
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
橋脚工形式	鉄筋コンクリート橋脚 2基		海岸からの距離	—		

施設の 状態等 の 概要	点検診断日	令和3年12月	
	調査結果	・上流側の張出床版部と歩道部直下の G1[sanitize]G2 間の床版下面に著しい遊離石灰の滲出を伴うひびわれが散見する。遊離石灰は一部つらら状で錆汁のような茶色を呈しているものもあり、ひびわれ周囲には黒く湿った跡やスケールリングが見られることから、路面から水が供給されて劣化が進行していると考えられる。滲出している遊離石灰は近傍の主桁フランジ部などにも及んでいて鋼部材の局部腐食の原因にもなっている。水の供給は歩道部あるいは歩車道境界部を介して浸透している可能性が高く、橋面防水の不備、不良が考えられる。このま	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和8年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	233	道路台帳索引番号	D-7	施設管理者	韮崎市
路線名	市道神山2号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	三井沢橋
施設の所在地	円野町下円井字北幅下地内	起点からの距離		建設年度	2001
供用年数	20	種別	PC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	三井沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	18.5		幅員(車道幅員)	8.2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式		
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の状態等の概要	点検診断日	令和3年9月	
	調査結果	<p>・起点側の間詰め床版部で確認されていた遊離石灰の滲出に目立った変化は見られない。若干茶色を呈した状況であるが、上部工全体に対して規模が小さく局部的であるため、今回も経過観察とする。これ以外に主要部材に特筆すべき損傷は見られない。・路面の地覆脇に堆積している土砂は路面排水の滞水原因となり、下方に水分を供給して部材劣化を助長する要因となるため維持工事による定期的な清掃が望まれる。</p>	

健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
----------	--------	---------------------

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和8年度	
	対策費用(百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	234	道路台帳索引番号	C-7	施設管理者	韮崎市
路線名	市道神山2号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	神山2-2号橋
施設の所在地	円野町下円野字水無	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	徳島堰

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.7		幅員(車道幅員)	7.3
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式	重力式橋台		基礎型式		
橋脚工形式		海岸からの距離		-		

施設の状態等の概要	点検診断日	令和3年9月					
	調査結果	<p>・主要部材に見られる変状はいずれも軽微なもので、概ね健全な状態を保っていると判断される。・下流側の防護柵では起点側のビーム端部が大きく変形して鋭利な状態になっているため、安全上の観点から補修しておくことが望ましい。・路面の地覆脇に堆積している土砂は路面排水の滞水原因となり、下方に水分を供給して部材劣化を助長する要因になるため維持工事による定期的な清掃が望まれる。・A1橋台の堅壁部に伸縮部からの漏水が見られる。本橋はコンクリート構造であり、唯一桁間部に鋼部材としてアンカーバーがあるが、そのほとんどの部分はコ</p>					
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。				

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度								
	内容	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和8年度								
	対策費用(百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	235	道路台帳索引番号	C-5	施設管理者	韮崎市
路線名	市道神山2号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	寺沢上橋
施設の所在地	円野町下円野字嶋崎	起点からの距離		建設年度	1999
供用年数	22	種別	PC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	寺沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8		幅員(車道幅員)	8.2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和3年9月	
	調査結果	<p>・上部工に目立った変状は見られず、概ね健全な状態である。・橋台の堅壁に若材齢時の初期ひびわれとみられる縦方向のひびわれが生じているが、発生間隔も広く堅壁が抵抗する有効断面とは無関係の方向のひびわれと考えられるため当面経過観察とする。・A2下流側の沓座部に見られる土砂と雑草は、草が深く根を張る前に除去しておくことが望ましい。また、路面の地覆脇に見られる土砂堆積や草の自生も路面排水の滞水原因となり、下方に水分を供給する要因になるため清掃が望まれる。</p>	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和4年度～令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和8年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	236	道路台帳索引番号	M-21	施設管理者	韮崎市
路線名	市道藤井 27 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	青坂バイパス跨道橋
施設の所在地	藤井町南下條 1222 番地 2 先	起点からの距離		建設年度	2012
供用年数	9	種別	PC 橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	A活荷重	橋下条件	主要地方道 茅野北杜 韮崎線

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	28		幅員(車道幅員)	4
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の状態等の概要	点検診断日	令和 2 年 12 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 7 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考
○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	237	道路台帳索引番号	A-1	施設管理者	韮崎市
路線名	市道神山2号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	小武川大橋
施設の所在地	下円井字上河原 31番地2先	起点からの距離		建設年度	2009
供用年数	12	種別	鋼橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	B活荷重	橋下条件	小武川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	158.9		幅員(車道幅員)	8.2
	施設の構造等	上部工形式	床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式	
橋脚工形式		海岸からの距離	-			

施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和3年12月	
	調査結果	<p>・耐候性鋼材の主構部材に特に変状等は見られず概ね健全な状態である。ただし、フランジ部に散見する動物のフンは放置すると腐食の原因にもなるため維持工事での除去作業が望まれる。・床版下面に広域に発生しているひびわれは若材齢時の温度や乾燥等に起因する初期ひびわれであると推察する。施工に由来するひびわれで進行性はあまりないと判断されるが、遊離石灰の滲出を伴うものもあるため、幅0.2mmを超えて開口が目立つものは予防保全の観点から注入等により補修しておくことが望ましい。・橋台の堅壁にも初期ひびわれとみられる縦方向のひ</p>	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講じることが望ましい状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度	
	内容	5年に1回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和8年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)					0.5					
対策の内容・実施時期					定期点検					

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	238	道路台帳索引番号	P-15	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穂坂 99 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	砦橋
施設の所在地	穂坂町三之蔵字トリテ地内	起点からの距離		建設年度	1975
供用年数	46	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	中央自動車道

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	39.2		幅員(車道幅員)	3
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
	橋台工形式		基礎型式			
橋脚工形式		海岸からの距離	—			

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 28 年 2 月								
	調査結果									
	健全性の診断結果	Ⅲ (早期処置段階)	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度								
	内容	補修工事を実施。 5 年に 1 回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	実施済(令和 3 年)								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	239	道路台帳索引番号	R-18	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道穂坂 100 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	上の原橋
施設の所在地	穂坂町	起点からの距離		建設年度	1975
供用年数	46	種別	PC 橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	中央自動車道

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	37.9		幅員(車道幅員)	5.5
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
橋台工形式		基礎型式				
橋脚工形式		海岸からの距離		—		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 28 年 2 月	
	調査結果		
	健全性の診断結果	Ⅲ (早期処置段階)	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	補修工事を実施。 5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	実施済(令和 3 年)	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	240	道路台帳索引番号	V-21	施設管理者	韮崎市
路線名	市道穂坂 103 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	用の沢橋
施設の所在地	穂坂町三ツ沢 1839 番地 1 先	起点からの距離		建設年度	2004
供用年数	17	種別		型式	
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	用の沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	85		幅員(車道幅員)	7
	施設の構造等	上部工形式	鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
			支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり
	橋台工形式	逆T式橋台		基礎型式		
	橋脚工形式		海岸からの距離	-		

施設の状態等の概要	点検診断日	平成 30 年 11 月	
	調査結果	軽微な損傷は見られるものの主だった損傷はなく全体的には健全である。	
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度	
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。	
	実施予定時期	令和 5 年度	
	対策費用 (百万円:概算)	0.5	

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)		0.5								
対策の内容・実施時期		定期点検								

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	241	道路台帳索引番号	Q-24,25	施設管理者	葦崎市
路線名	市道葦崎6号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	更科歩道橋
施設の所在地	富士見二丁目 1804番地1先	起点からの距離		建設年度	1997
供用年数	24	種別	鋼橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)		橋下条件	塩川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	145		幅員(車道幅員)	3
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
		橋台工形式	鉄筋コンクリート逆T式橋台	基礎型式	直接基礎	
橋脚工形式	鉄筋コンクリート壁式橋脚	海岸からの距離	-			

施設の状態等の概要	点検診断日	令和1年12月								
	調査結果	舗装:補修済								
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度								
	内容	5年に1回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和6年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)			0.5							
対策の内容・実施時期			定期点検							

備考										
<p>○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。</p> <p>○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。</p>										

※個々の施設毎に作成

橋梁一覧
(個票)

個別施設整理番号	243	道路台帳索引番号	Q-36	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道大草 45 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	丸林上橋
施設の所在地	大草町下条中割	起点からの距離		建設年度	2016
供用年数	5	種別	鋼橋	型式	桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	A活荷重	橋下条件	割羽沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	20.4		幅員(車道幅員)	5
	施設の構造等	上部工形式	桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎		
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日									
	調査結果									
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度 ~ 令和9年度									
	内容	5年に1回の定期点検を行う。									
	実施予定時期	令和7年度									
	対策費用 (百万円:概算)	0.5									

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
 ○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。

※個々の施設毎に作成

個別施設整理番号	244	道路台帳索引番号	P-36	施設管理者	蕪崎市
路線名	市道大草 55 号線	道路種類及び区分	市町村道	橋梁名	割羽沢川 4 号橋
施設の所在地	大草町下条中割	起点からの距離		建設年度	不明
供用年数	不明	種別	鋼橋	型式	桁橋(H 桁)
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	割羽沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	16.9		幅員(車道幅員)	3
	施設の構造等	上部工形式	桁橋(H 桁)			
			鋼製(使用鋼材)	別紙図面のとおり	塗装使用の有無	別紙図面のとおり
		支承型式	別紙図面のとおり	落橋防止の有無	別紙図面のとおり	
橋台工形式	重力式橋台		基礎型式	直接基礎		
橋脚工形式			海岸からの距離	—		

施設の状態等の概要	点検診断日									
	調査結果	橋座面に残置物、舗装に路面の凹凸								
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。							

長寿命化計画の内容	計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 9 年度								
	内容	5 年に 1 回の定期点検を行う。								
	実施予定時期	令和 7 年度								
	対策費用 (百万円:概算)	0.5								

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	令和 10 年	令和 11 年	令和 12 年	令和 13 年
対策費用(百万円)				0.5						
対策の内容・実施時期				定期点検						

備 考

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の安全性を確保できる。
○予算の平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な維持管理が可能となる。